令和6年度

大野小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○「チャイムスタート」で授業を始め，自主的に学習に取り組む児童の育成
○根気よく丁寧に取り組む児童を育成し，基礎・基本の確実な定着を図る

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 鈴江　佑佳	委員　校長・総括：宮越　千佳 教頭・総括補佐：山﨑　寛子 教務主任：小川　　英子 研修主任：谷　篤彦 特別支援コーディネーター：梶尾　茂美

校長

宮越　千佳

◎次の(１)～(３)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

研修での教員からの報告や管理職による授業参観等，様々な機会に取組状況の把握を行う。

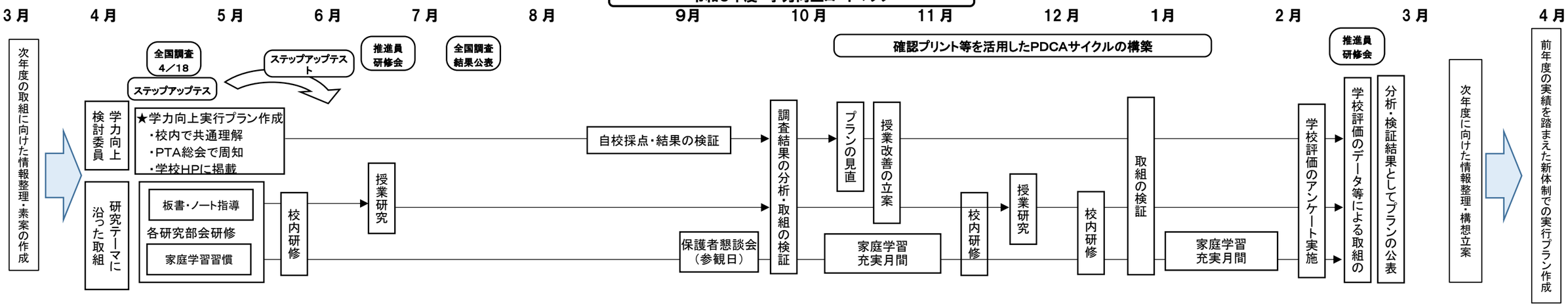
(１)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや音読・計算などの基礎的な力がついてきている。 ●学力差が大きく，二極化している学年もある。特に，経験したことのない問題に対応する応用力には差が大きい。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ・読書に親しみ，豊かな言語力を身につける。	・ドリル学習アプリを活用し，補充学習を効果的に行う。 ・定期的に漢字や計算等の小テストを実施し，一人一人の習熟度を把握する。 ・学年末に漢字検定・算数検定を実施し，定着度を確認する。			

(２)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○提示された課題や質問に対して，意欲的に発表し，真面目に取り組んでいる。 ●自分の考えを文章に書いてまとめたり，順序立てて説明したりすることに課題がある。	・思考ツールを使って考えたり判断したりすることができる。 ・自分の言葉で，考えやその理由を話したり書いたりすることができる。	・ホワイトボードや学習支援アプリの活用を充実させ，全ての教科において，自分の考えを表現させる時間を設ける。 ・話し合い活動や作文指導を適宜行い，意見のまとめ方や説明の仕方を指導する。			

(３)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いて生活し，課題や自主学習に意欲的に取り組もうとしている。 ●難しいと思う課題を避ける傾向があり，最後まで諦めずに取り組もうという意識に乏しい。	・課題や自主学習に進んで取り組み，目標を達成する喜びを感じるとともに，学ぶ楽しさを感じることができる。 ・学習したことを実際の生活の中で生かそうとしている。	・授業に直接体験を取り入れたり，児童用デジタル教科書を活用したりして，楽しく分かりやすい授業を行う。 ・毎時間，学習のめあてと振り返りを確認し，自己評価力をつける。 ・自主学習リレーやポイント制を取り入れる等，意欲を高める工夫をする。			

令和6年度　学力向上ロードマップ